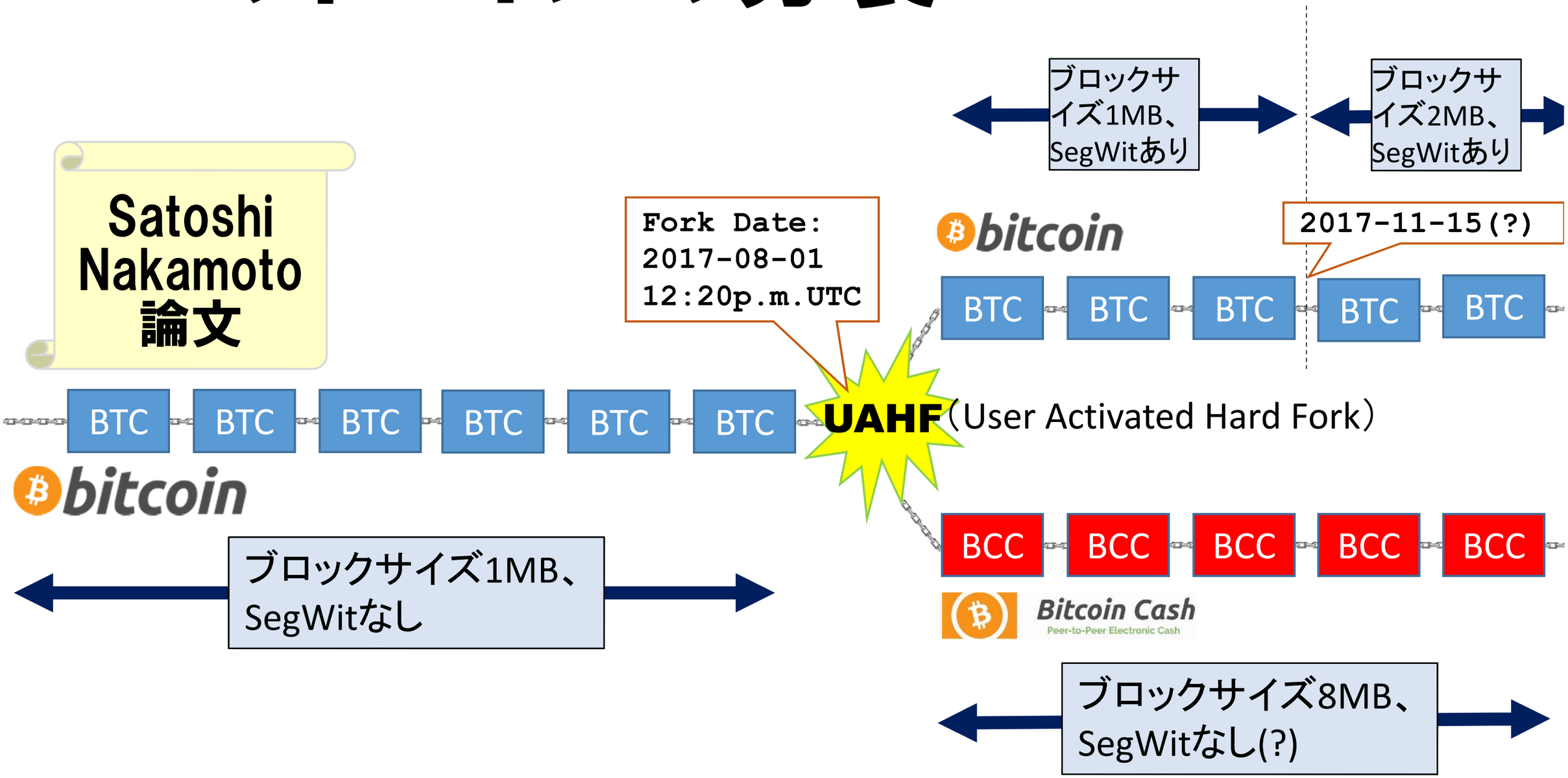
2017年7月31日

何を意味するのか
何が問題なのか

早稲田大学経営管理研究科
教授　岩村　充
（社団法人 自律分散社会フォーラム 代表理事）

ビットコインの分裂



岩下さんのスライドから

Bitcoin Cash 先物の相場推移

- BCCの先物市場では、BTCの13%、350ドル程度の価格がついている。

観点その1：マイナーは、ビットコインの仕様変更に賛成シグナルを出し、一方で分裂後のビットコインキャッシュのマイニングを行うことができる。

- ビットコインの仕様が変更されれば（SegWitが有効になれば）、慌ててブロックサイズを拡張しなくても良くなるが、それはビットコインキャッシュのマイニングを行うことと矛盾しない。

観点その2：分裂後のビットコインの延伸速度はマイニングパワーが抜けた分だけ低下するが、新しいビットコインキャッシュのターゲットが適切に調整されていればこちらは遅延しない。

- ビットコインの遅延は一時的現象だが、次のターゲット調整は直近調整（7月27日11:03:54 UTC）から2016ブロック経過後（遅延がなければ2週間後）。それがどう認識されるかは不透明。

ビットコイン分裂「騒動」が教えてくれたもの

自律分散系のエコシステムでは、それを「進化」させる方法論は大きく2通りある。

第1の方法論：投票あるいは多数決

- ビットコインでも「ビザンチン将軍問題」は解決されているわけではない。
- 矛盾したブロック延伸なら、マイナーの「利己心」で排除される。

  ⇒アダム・スミスによるビザンチン将軍の封印。

第2の方法論：分離とシステム間競争

- 生物は繰り返し子を産むことにより進化する（らしい）。
- ブロックチェーンのフォークは進化の一形態とも言える。

イーサルアム上のICO

岩下さんのスライドから

> **ブロックチェーン・プロジェクト「Bancor Protocol」（バンコール・プロトコル）が、イーサリアムのネイティブトークンETHを用いたICOを通じ、ほんの3時間で167億円相当を調達した。**
>
> 出典：現代に蘇るケインズ通貨「バンコール」、ブロックチェーンICOで167億円調達 | ビットコインの最新情報 BTCN | ビットコインニュース

> **ICOの調達額は過去最大を更新。フィアットベースでは、昨年6月に実施されたThe DAOの160億円を若干上回る結果だ。**
>
> 出典：現代に蘇るケインズ通貨「バンコール」、ブロックチェーンICOで167億円調達 | ビットコインの最新情報 BTCN | ビットコインニュース

観点その1：ICOで発行されるコインって何だろう。それは「株式」なのだろうか。

- 株式とか社債は一般的な概念だが、現実の株式は特定国の法律に準拠して設立された「会社」が発行するもの。
- ところが「バンコール・プロトコル」は特定国の法律による法人ではない。あくまでも「スマート・コントラクト」。
- しかし、それで資金調達ができたという事実は消せない。

観点その2：スマート・コントラクト（だけ）で世界は変わるのだろうか。

- 会社は契約書の束ではない。
  ・・・ロナルド・コース「企業の本質」1937年

時間があったらどうぞ　⇒　自律分散社会フォーラム（http://dasf.global/）